

筑心

chikushin

筑心会

vol.20

2010 JULY

平成22年7月1日発行



発行 福岡県立筑紫高等学校
同窓会 筑心会

在校生のために
私たちが出来ること。

2年7組

第35回筑心会 懇親会

2010年8月1日(日) 15:30~

タカクラホテル福岡

www.chikushin.net

ご挨拶



「新たな『思い出作りの旅』が始まりました」
名誉会長(学校長) 大和 豊

筑心会会員の皆様におかれましては益々ご健勝のことと拝察いたします。平素より本校の教育活動に対し、物心両面のご支援を賜り心より感謝申し上げます。

私は本年、四月一日に筑紫高校の校長として着任いたしました、大和豊と申します。当日は校門の桜に迎えられ、私にとつて新たな「思い出作りの旅」の始まりを強く感じる一日となりました。

今年の三十八期生の入学式の式辞の中で「平成二十四年度、皆さんが三年生になる年に本校は創立四十周年の記念すべき節目を迎えます。一万四千六百名に及ぶ同窓生が母校愛に燃えて素晴らしい環境を作り、県下でも有数の歴史と伝統を築いてきたのです。皆さんはその後継者として、たくましく前進者たるべき責任を本日から担うこととなります。」と述べました。ここ数十年の日本を振り返ってみますと、何とも氣勢の上がらない、経済も財政も、外交も内政も得点無しで失点ばかりという状況に映ります。野村監督の名言「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」がそのままではまるような気がしているのは私だけではないと思います。四十周年の節目に卒業を迎える三十八期生には国内だけではなく、広く世界で活躍し

ている同窓生に伍して、将来の日本を背負って立つ人材が数多く輩出することを願うの言葉となりました。

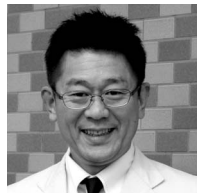
現在家庭や学校が抱える問題の多くは、その前提となる「教育の過程・組み立て」が崩れていることから生じていると見る事ができます。さらに、近年教育に対する価値観が多様化している現状を考えると、教育は学校だけの問題ではありませんし、また、家庭の教育力だけで解決できる問題ではないことも明らかです。

本校に赴任して始業式・入学式をはじめ、生徒会のオリエンテーション等いくつかの行事を体験し、生徒と接するにしたいが、本校はこの「教育の過程・組み立て」がしっかりと機能していると感じました。具体的には、

- 「あいさつ」のよい生徒が多い。
- 校内にゴミが落ちていない。
- 明るく、さわやか、元気に生活している生徒が多い。
- なによりも、教師が責任と誇りを持って教育活動に当たっている。

「時を守り・場を清め・礼を正す」、私の尊敬する「森信三先生」の言葉ですが、これは教育(躰)の原点です。今後も日々の教育活動を通じて、教育の原点を見失うことなく、筑紫高校の教育風土を継承していかなければならないと考えています。

終わりに、この先、筑心会の皆様とともにすばらしい「思い出作りの旅」ができましたことを切にお祈りしましてご挨拶いたします。



「入学式での校歌紹介」
同窓会会長 木原 寿

筑心会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて、私、会長を任ぜられて早3年目を迎える事となりましたが、この間、学校行事等を通じて在校生や先生方とも接する機会を得る事ができ、普段の生活では得られないような刺激や感動を頂戴しております。

例えば、入学式での校歌紹介。

これは、掛け声と共に駆け足で体育館に整列した新2年生が、大きめの制服を着け期待と不安の入り混じった表情の新生活を前に、校歌を斉唱するのですが、歌い終えた時、新入生と保護者から大きな拍手が起ります。

その瞬間、拍手をするその表情からは、期待と不安ではなく、逞しい先輩の姿に1年後の自分(子供)の姿を重ね、希望を見出し、筑紫生(筑紫生の保護者)としての「覚悟」が備わった事が伝わって来るのです。

私どもを取り巻く社会情勢や経済状態は、不安や危機からの出口探しにもがいているような状態が続いておりますが、校歌紹介で2年生が1年生に範を示したように、私ども同窓生も在校生に対し範を示せるよう、それぞれのフィールドで努力精進する事が「在校生の為に私たちが出来る最も大切な事」であるように思います。

さて、話は変わりますが8月の懇親会は14期の権藤幹事長を筆頭に4、14、24、34期が当番期となります。特に4期の皆さん、当日お会いできる事を楽しみにしております。

恩師往来

<ul style="list-style-type: none"> ○退職 ・石橋 國重(校長) ・大島 洋(理科) ・鈴木 清香(主任学校司書) ・柴田 フサ子(主任技能員) ○転出 ・中村 邦夫(教頭) ・松田 美香(国語) ・荒木 隆博(社会) ・吉田 英子(理科) ・清田 正和(理科) ・脇山 弘二(保健体育) ・君塚 陽子(英語) ・細谷 明子(英語) ・安達 昌代(英語) ・田中 一嘉(英語) ・成富 義文(英語) ・富田 清子(養護) ・丸尾 香菜(事務主査) 	<ul style="list-style-type: none"> ○転入 ・大和 豊(校長) ・大庭 照雄(教頭) ・若狭 順恵(国語) ・原 統一(社会) ・内田 敏章(理科) ・大塚 和広(理科) ・高島 政光(英語) ・竹松 敦子(英語) ・江口 理香(英語) ・明神 恭子(英語) ・津田 香織(英語) ・齊藤 瑞恵(養護) ・松尾 節(企画主査) ・高橋 依子(主任学校司書) ・篠崎 博重(技能員) ・川崎 義彦(養護) ○講師 ・大上 香織(国語) ・山本 大樹(数学) ・笠井 克敏(保健体育) ・寺田 直子(国語) ・古賀 裕介(社会) ・河野 正彦(理科)
---	--

第34回 筑心会懇親会報告

同窓会会員の皆様、昨年度は第34回筑心会懇親会への多数のご参加ありがとうございました。昨年当番幹事をさせて頂いていただき、我々十三期生は八十名を集客することができました。「八十名？少なからうもん！」と思われる方もいらっしゃるでしょうが、今まで多くて四名、少ないときはゼロだった我々からすれば、大変な快挙でした。3期、23期、33期の皆さんをはじめ、諸先輩方の温かいバックアップのおかげで、準備段階から本当に充実したひとときを過ごさせていただいたことに感謝しています。

さて、昨年①環境問題を考えよう！②婚活応援をしよう！③ママ達の参加を応援しよう！の3つのコンセプトで進めて参りました。①では「オリジナルエコバッグとマイ箸」を販売し、皆様のご協力のおかげで完売することができました。②では、シングルにはピンク色の名札で婚活中をアピールしてもらいました。成果のほどはこちらには報告があがっておりません（笑）③では、筑心会初の託児室を設置しました。6名ほどのちびっ子達が保育師さん達と楽しく遊んでいました。

これを機会に今後も母校を温かく応援していきたいと思っています。今年の懇親会の盛会をお祈りしています。平成21年度当番幹事一同



筑心会 関東支部 第8回総会報告

関東圏在住の皆様、如何お過ごしですか。さて、昨年は隔年開催の関東支部総会の年でもあり、10月3日（土）に第8回筑心会関東支部総会を開催致しました。今回は、「温故筑心」〜母校への架け橋〜をテーマに掲げ、OBによる学生への就職活動のサポート、ビジネス交流を深める催し等を企画し、多くの現役大学生を含む若手OBが出席。来賓の先生方を含め100名近い参加となり、大変盛況な総会となりました。

ました。関東支部役員、スタッフ一同厚く御礼申し上げます。「新設校」と呼ばれた母校も35期の卒業生を輩出し、伝統を築きつつあります。当支部も進学や就職で上京されたOBの方々に、母校への架け橋となるよう活動して参る所存です。今後ともよろしくお願いたします。

関東支部長 第3期生 中森秀樹



第35回 筑心会懇親会案内

高校時代を振り返ると不思議な気持ちになりませんか？

- 何であんなに一途だったんだらう？
- 何であんなに力一杯だったんだらう？
- 何であんなにお腹が空いてたんだらう？
- 何であんなに盛り上がったんだらう？
- 何で毎日弁当作ってくれたんだらう？

筑紫高校も昭和48年4月の開校から37年の歳月が過ぎ、本年の新1年生は38期生となります。「新設校」と云う枕詞が付き物だった母校も人間で言えば働き盛り、家庭を守る自立した大人の年齢となりました。

目標に向かって努力している人、新しい出会いと発見にワクワクしている人、社会の荒波に揉まれてる人、父となり母となり我が子と家族のために頑張っている人。卒業してからの時間は皆さんそれぞれだと思いますが、共通していることは筑紫高校の卒業生であることです。「我々職員にとつて筑紫高校に勤務したことは勤務経験の一つであるが、筑紫高校を卒業したことは君たちの人生にずっと付いてくる」。在学時に言われていた言葉です。

卒業した年代は様々でも、針摺の丘で過ごした仲間です。その仲間たちが一同に集う筑心会懇親会の時期がやってきます。本年は8月1日(日)、会場を薬院のタカクラホテル福岡に移し開催されます。当番幹事は14期生を中心とした「4」が

付く学年です。仕事や家庭のことをやりくりしながら打ち合わせを重ねています。「集まれる時間の関係で学校に集合することは難しく天神の会議室で準備を進めています。そんな中、久しぶりに学校に行ってみたら驚くことばかりです。

- その① グランドに芝生が貼ってある！
- その② 一つの間に3学期制から2学期制になり、秋休みがある！
- その③ 第6学区だったのが第5学区に変わっている！
- その④ ゆめタウンがほぼ隣接してる！
- その⑤ 西鉄「紫駅」が増える！

等々、浦島太郎状態でした。朝倉街道駅からの通学路や学校周辺は開発が進み、雰囲気は随分と変わっていましたが筑紫高校のたたずまいは歴史を積み重ねる風格を増していました。8月1日の懇親会では、卒業してから少々時間が経過された方には懐かし、最近卒業された方には新しい、筑紫高校の一面をご覧いただく予定です。」と準備に忙しいようです。

先生方、クラスの仲間、部活の先輩、後輩、懐かしい顔触れが揃う楽しい時間です。皆さんのご参加、お待ちしております。

第35回筑心会

- 【日時】 8月1日(日) 15時00分～
- 【受付】 15時30分～
- 【懇親会】 15時30分～
- 【場所】 タカクラホテル福岡
- 【会費】 (当日価格)
- 1～14期 6,000円
- 15～24期 5,000円
- 25～31期 4,000円
- 32～34期 2,500円
- 35期 1,500円

◎ 出席予定の先生方 ◎

- 石橋 國重 田中 輝一
- 一ノ瀬 泰宏 津田 香織
- 伊藤 整一 中園 由美子
- 内田 敏章 鍋島 信江
- 小川 文一郎 西田 文男
- 鹿毛 義之 仁田 原秀明
- 北島 龍雄 野島 明日香
- 城戸 英敏 樋口 千鶴
- 木村 賢治 福田 修
- 桐明 久美子 松尾 キヨミ
- 日下部 成邦 三苫 大輔
- 久間 克己 木村 厚生
- 佐野 匡志 目野 悠一
- 白石 健 森本 由起子
- 白垣 正康 安森 美保
- 鈴木 貴子 吉田 和裕
- 瀬戸 口朋子 渡部 一雄
- 田代 りえ子 (順不同)



前売り価格がお得! 懇親会チケットを「チケットぴあ」にて発売中!
ホークス戦ヤフードームスーパーボックスが当たる!

今年の筑心会懇親会入場チケットもチケットぴあにて前売り販売いたします。

販売期間	2010年7月1日～31日	
	前売り	当日
Pコード	P617-585	
1～14期	¥5,700	¥6,000
15～24期	¥4,600	¥5,000
25～31期	¥3,600	¥4,000
32～34期	¥2,000	¥2,500
35期	¥1,000	¥1,500

購入の際にPコードを販売窓口で申し出ていただくか、チケット発券機へ入力してください。

販売場所 ■全国チケットぴあ取り扱いカウンター、サークルK、サンクス

■電話予約[0570-02-9999] 手数料無料
セブンイレブンにてお引き取りいただけます。

■Webサイト「電子チケットぴあ」
(別途手数料¥310)

懇親会当日「チケットぴあ」様の協賛で、「ホークス戦ヤフードームスーパーボックスが当たる!」の抽選会がございます。

お子様連れでもお気軽にどうぞ。小学生以下無料!!

お問合せは
 ○電話：092-924-1511
 ○E-Mail：info@chikushin.net
 ○URL：http://www.chikushin.net

第5回 OB 座談会実施報告と感想

If & Reality

開催日 2009年11月7日(土) 快晴 ☀

9:10~

開会式
(体育館にて講師の紹介)

9:50~10:40 1回目講演

10:50~11:40 2回目講演

12:30~

意見交換会を兼ねた
食事会



平成21年11月7日(土)に第5回OB座談会「If & REALITY」に講師として参加してきました。当日は、OB講師達は朝8時半に集合、控え室でミーティングです。参加OB講師たちの緊張した面持ちが印象的でした。ミーティング後、全員で体育館に移動して、現役生徒達に対面し一言ずつ挨拶しました。「自分たちも25年近く前はこんな感じに初々しかったのかなあ」などと感慨にふける間もなく早速講師控え室にもどり、一回目の講演の準備です。現役生たちが控え室まで迎えに来ています。講師陣は現役生に案内されながら自分が担当する教室へ向かいました。



パソコンを使ってパワーポイントでプレゼンするOBもいれば、黒板にチョークで板書しながら説明するOBもありました。自衛官のOBは制服で講演したり、外科医のOBは外科手術着のコスチュームで登場したりして、皆思い思いの講演スタイルで盛り上げながら筑紫高校を卒業した後の自分の人生経験を熱く語りました。現役生徒たちも真剣な眼差しでOB達の姿を自分たちの将来の姿として頭の中で想像していたことでしょう。



「OB 座談会」感想文 対象学年は現3年生(36期生)、いずれも一部抜粋



私には夢があります。それは世界のあらゆる人と交流し、手助けをしたいということです。そのためにはもっと英語を勉強しなければいけないのですが、成績が上がらずどうしようかと思っていました。でも今日のお話を聞いて、ライフプランニングができていなかったからかなと思いました。また、自分で自分に限界を作っていたからだと思いました。だから、しっかりとライフプランニングを建てて、自分が今何をすべきなのかしっかりと把握して毎日コツコツと勉強していきたいと思いました。(M・Tさん)



今日はありがとうございました。私は太陽光発電には少し興味をもっていたので、楽しかったです。私の家でも太陽光発電をつけようかなという話があるので、とてもためになりました。ソーラーパネル1枚で160wしか電気を得られないというのは、意外でした。もっと得られて家の電気全部をまかなえるかと思っていました。びっくりしました。でも、太陽光発電は、環境に優しいし、これから重要になってくると思います。だからもっと太陽光発電について知る機会を作りたいと思いました。(Y・Hさん)



アートへの関心が、好きな人とのクリスマスカードの交換がきっかけだったということがとても印象に残りました。私も、そんな人との関わりを通してやりたいことが見つけられたらいいなと思いました。私には好きなことはたくさんあるのですが、それを仕事としてやろうとまではなかなか決められず、迷うことが多いです。でも、今日先輩に「道は必ず開ける」という言葉をいただいて、これからそれを信じて、関心があることには、どんどん挑戦していきたいと思いました。(H・Mさん)



先輩が今の仕事につかれたのは昔からの夢ではなく、たまたま視点を変えた結果だったと聞いてびっくりしました。大学も特別行きたくったところでもなかったとおっしゃっていたけど、頑張っていれば将来はどのようにでもなるんだなと思いました。私は今進路のことで迷っています。少し前は環境に興味があるので農学部へ行って勉強したいと思いましたが、今日の講演を聴いて「視点を変えてみる」ことも必要だとわかり、もっと私自身を客観的に見てみようと思いました。(A・Nさん)

第6回OB座談会 開催のお知らせ

「OB座談会（F&REALITY）」が今年も11月6日（土）に開催されます。「もしも高校生の時、ああしていたら今頃自分は？」あの時、こうしていなかったら今の自分は？」卒業生が母校の後輩に対して様々な体験を語ったり現役高校生と対談したりするために「母校に帰る…そんな夢のようなひと時です。」

この筑心会目玉企画も、おかげさまで持ちまして今年で6回目を迎えることとなりました。毎年少しずつバージョンアップしながら盛り上がりを増しているこのOB座談会、昨年度に延べ100人近いOBの方に講師をしていただき、学校やご父兄からも大変高い評価をいただいております。

また、実際に講師として参加したOBからは「良い経験になった」、「難しかった」、「社内プレゼンと同じかと思っていたが全く違った」、「若い人となんかに波長が合わなくなりました」と、「教えるつもりで来たが、逆にたくさんのお話を学ばされた」という声が聞こえてきました。毎年、参加したOB講師たちは座談会が終わって控え室に戻ってきた瞬間から、それぞれに爽やかな達成感を感じながら意見交換に花が咲きます。



そして、OB全員が口をそろえて最後に出す言葉は「楽しかった！またやりたい！」…やはりこの言葉に尽きるようです。午後から行われる参加OBの懇親会も楽しみのひとつです。

「OB座談会実施委員会」は今年も20名を筑心会サイト上で公募しています。あなたも後輩のために一肌脱いで、悩める高校生たちと貴重かつ楽しいひと時を共有しませんか。

OBとして現役の後輩と向き合ってみて話してみたい方、プロフェッショナルとしての心構えを伝えたい方、自薦他薦は問いませんので、みなさんの応募を心よりお待ちしております。

なお、講師選定に関しましては初めて応募された未経験の方を優先し「OB座談会実施委員会」で検討の上決定させていただきます。（営利目的や特定の思想教育を目的とする方は応募をご遠慮ください）

●実施日

2010年11月6日（土）9時～13時

●応募方法

筑心会ホームページより応募ください。

<http://www.chikushin.net>

●対象職業

左記の表をご参照ください。

公務員	国家公務員、官僚、役所、警察官、消防士、自衛官等
教育系	大学教授、教員、児童教育、博物館、図書館等
政治・法学系	政治家、弁護士、行政書士、司法書士、判事、検事等
経済・金融	経済一般、銀行、証券、生保、損保等
福祉系	児童福祉、高齢者福祉、介護等
国際	業種は問わず、世界のフィールドで活躍されている方
マスコミ・広告	放送、新聞、出版、広告代理店、製作、コピーライター等
文化・芸術・スポーツ	クリエイティブ、文化的、スポーツ関連事業に従事の方
運輸	航空、鉄道、船舶、運送、倉庫等
理工	研究所、天文、地球、宇宙、気象等
IT	SE、WEB関連、ソフトウェア、ネットワーク、ゲーム関連等
電機・電子・エネルギー	電機、電子メーカー、ハード関連、電力、ガス、石油等
建築	建築家、ゼネコン、ハウスメーカー、不動産、土木系等
農学・生物・環境	農業、バイオ、生物工学、動物園、植物園、草花系等
医療・保健	医者、看護師、理学療法士、薬剤師、臨床検査技師等

現役筑紫生を海外へ派遣 受け入れ先募集中！

海外派遣委員会では、学校行事として行われている語学研修とは異なった視点から、主に海外で生活・仕事をしている卒業生との交流の機会を提供し、国際交流に貢献する人材を育てる事を目的としております。平成17年には3名の生徒をニューヨークに、平成19年には4名の生徒をハワイに派遣しました。そして、昨年は3名の生徒

を選考決定しニュージーランドへ派遣する予定でしたが、世界中を震撼させた、新型インフルエンザの流行のため、やむなく中止としました。次回第3回海外派遣は来年度を予定しています。

同窓会では、秋休み※（9月下旬頃）に、生徒に海外での交流の場を提供して下さる卒業生を募集しております。協力していただける方、興味のある方は筑心会ホームページよりご連絡ください。お待ちしております。

※筑紫高校は平成18年度から2学期制となっております。

ラグビー部OBが「城戸先生の退職を祝う会」を開催！

本校にて14年間の長きに亘り教鞭を執り、ラグビー部前監督を務められた城戸英敏先生が、3月31日筑紫丘高校校長の職をもって定年を迎えられました。ラグビー部OB会ではその功績を称えるべく、筑紫丘高校の協力を得て、さる5月1日に「城戸先生の退職を祝う会」を開催しました。

春日公園球技場で行なった筑紫対筑紫丘の記念試合では、現役戦の後OB戦のレフリーで城戸先生登場！全身真っ赤な還暦レフリー姿の城戸先生は、次々と選手交代するOBを尻目に最後までグラウンドを駆け、絶妙なゲーム捌きで両校引き分けの演出（笑）をしてくださいました。

試合後、両校より花束他、OB会より背中



に「EZU」のネーム入り背番号60の記念ジャージを贈呈。両校ラグイメンによる胴上げで昼の部を終えました。夜にはタカクラホテルで祝賀会を開催し、参加百余名で恩師の「卒業」をお祝いしました。各期ごとのエピソード披露では、城戸先生への感謝とともに数々の名言や珍プレーが語られ、会場は爆笑の渦に。最後には城戸先生から御礼の言葉に代えて「口下手なので…歌います！」と、お得意の「ラグビー小唄」も飛び出し、一同拍手喝采となりました。現在、城戸先生はラグビー部名誉顧問として週に数回筑紫高校にお見えです。今後ますますお元気に、後輩たちの指導をお願いしたいと思います！

当番幹事紹介

筑心会の会員の皆さま、こんにちは。

平成22年度幹事長を務めさせていただきこととなりました14期生の権藤知弘です。現役の際は写真部に在籍をしておりました。

14期生がお層蘇気分も抜けぬまま（あくまでも気分です）迎えた3学期の始業式当日は昭和最後の日となり、昭和61年4月に入学した14期生は平成元年3月に卒業したことになります。

聞き慣れない「平成」の響きと共に卒業した14期生が当番幹事を担当することとなり、月並みな表現ですが時の流れの速さに驚かされるばかりです。

さて我々14期生の当番幹事一同もご多分に漏れず同窓会総会の出席率は褒められる状態ではなく、不安な気持ちと忘れかけていた過去に参加した同窓会の記憶を持ち寄り、当番幹事としての活動をスタートさせました。



第35回筑心会懇親会 当番幹事

幹事長	権藤 知弘(14期)	幹事	井上 尊友(14期)
幹事	黒木 弘(14期)		高橋 浩(14期)
	広川 啓行(14期)		河北 隆二(14期)
	安達 昌代(14期)		一木 伸彦(14期)
	河野 吉弘(14期)		大武 末男(14期)
	永尾 拓(14期)		
	石蔵 慶典(14期)		



卒業から過ぎた20年以上の歳月を埋めることから始まった同窓会準備ですが、会を重ねるごとに現役時代の記憶が蘇ってきて感慨にふけることも度々ありました。

お世話になった恩師の方々で定年退職された先生方も多く、計算してみると14期生の今の年齢と先生方の当時の年齢がほぼ一緒であることに驚きの声を上げたこともありました。

さて、8月1日に行われる筑心会懇親会ですが、お世話になった先生方や先輩方、後輩の皆さん、そしてもちろん14期生の皆さんが気軽に参加でき、楽しんでいただけるものにとしようと幹事一同で知恵を絞っております。ご期待下さい。

なお昨年度に実施された託児サービスも本年も取り入れますので「子供がまだ小さいから・・・」という方も安心してご参加いただけるようにしております。

どうぞ、クラスの友達・部活の仲間などお誘い合わせの上、西鉄薬院駅そばのタカクラホテルにおいてください。高校時代のような屈託のない、楽しい時間を過ごせることを期待しております。

5年ぶり全国舞台、ラグビー部選抜大会出場

筑紫高ラグビー部は、第11回全国高校選抜大会（埼玉県熊谷市、4月1日～7日）に実行委員会推薦枠で5年ぶり2度目となる出場を果たし、「福岡に筑紫あり」をアピールした。

予選リーグ1勝2敗（0-10桐蔭学園、43-13新田、0-22秋田工）で各グループ1位による決勝トーナメントには進めなかったが、全国屈指の強豪で、優勝候補の一角だった桐蔭学園に善戦。ラグビー部が「全国レベル」であることを強く印象付けた。優勝は、前年度の選抜大会と正月の全国高校大会との高校2冠に輝いた東福岡。

西村寛久監督は「トップレベルのチームと互角に試合ができたことは、選手たちの自信になったと思う。目標の日本一が決して夢ではないと分かったことが一番の収穫だった」と振り返る。

県大会では、春冬ともに5年連続で東福岡に敗れて準優勝。特に花園切符をかけた2009年秋は12-17の大接戦で、全国から注目を集めた。本年度の花園は90回記念大会で出場校が4校増える。福岡県はこのうちの1枠増に決定した。体力、技術、精神力のすべての面で「個の強化」を重視した猛練習を重ね、悲願の花園を目指す。



▲開会式に整列する筑紫フイフティーン

▼桐蔭学園との一戦



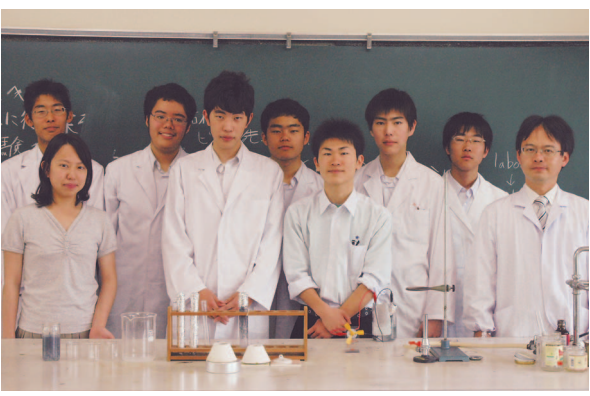
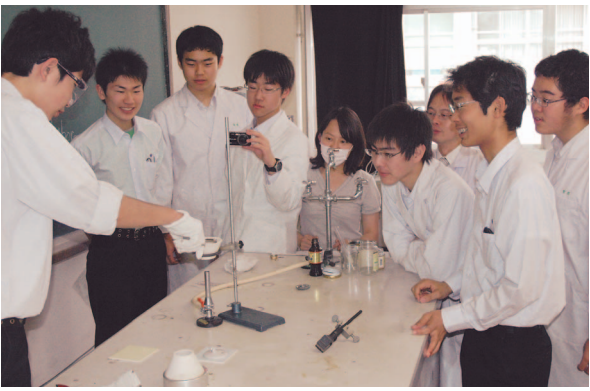
▶新田との一戦



◀石橋前校長(左)と城戸前監督(右)が応援に駆けつけてくださいました。中央は木原筑心会会長

後輩達の今！

化学部



男子バスケット部



目指すは世界一！

筑紫高校「化学部」は、平成十八年に「アントシアニンの色調安定化に関する研究」で世界大会に出場するという輝かしい実績を持っている。部長の西川裕矢君（三年生）は、このニュースを知って化学部に入部したいと思ったそうだ。現在三年生二人、二年生三人、一年生二人の計七人（の男所帯）で活動している。取材させて頂いたときは、顧問の先生方のアドバイスを受けながら、真剣な表情で化学実験の真最中だった。普段は教科書に載っている実験やテレビや本で読んだ実験をやったり、年間を通してひとつのテーマを研究しているとか。ちなみに今年の年間テーマは唐辛子の色素を使った研究で、秋の「全国高校化学グランプリ」を目

指して頑張っている。

もうすぐ創部十年目を迎える化学部のモットーは「オンリーワンを実践し、ナンバーワンを目指す」。つまり「自分にしかできないことにベストを尽くし、世界一を目指すってことです。」と力強く語ってくれた。顧問の松田先生も「みんな個性的で、自分たちで何かやってやろうと頑張っているメンバーです。」と太鼓判を押していらつしやいました。

「理科が好き」「スポーツはいつでも出来るけど、実験は今しかできないから。」「実験が成功したときが一番嬉しい。」と目を輝かせて語ってくれた頼もしい男達の世界大会出場をOBとして心から応援したい。

走り負けないために

土曜日の体育館にボールをつく音とシューズのキユツ、キユツという音が鳴り響いていた。この日はちょうど引退したばかりの三年生の練習試合が行われていた。新チームが発足したばかりで、実はまだキャプテンも決まっていないう状態での取材だったが、二年生の平田君と坂口君がさわやかにインタビューに答えてくれた。

現在二年生八人、一年生十六人で活動している。今年のチームの特徴は？と聞くと、「身長が低いので、足を動かして走れるチームを目指します。走り負けないためのトレーニングをしっかりとやっています。」という頼もしい言葉が返ってきた。レギュラーの平均身長は170センチ前半と、バスケットボール選手としては小柄な選手

が多い。しかし顧問の飯田先生は「去年よりは少しいすが平均身長は高いので、スリーポイントとインサイドのプレーを使って勝負すれば、おもしろいチームになると思います。」と熱く語って下さった。

このように決して身長は高くはないが、それをカバーするために練習の半分はフットワークを鍛える内容になっているとか。現在は6月のインターハイ予選に向けて、土日返上で練習している。

「目標は県大会出場です。先輩達の名に恥じないように、一つでも多く勝てるように頑張ります。」とさわやかに決意表明をしてくれた。男子バスケットボール部の今後の活躍に注目！